



令和元年度 観光人材育成事業
むこう観光スタートアップ講座
プロジェクトブック

～向日市で観光を仕事にする～

向日市ふるさと創生推進部企画広報課

はじめに	
観光人材の必要性と市の取り組み	・・・1
むこスタの取り組み	
むこスタのマインドセット（考え方）	・・・2
令和元年度の取り組み	・・・2
むこスタ、令和元年度のプログラム（振り返り）	
ガイダンス	・・・2
マネジメントコース①	・・・3
マネジメントコース②	・・・4
マネジメントコース③	・・・5
ガイドコース①	・・・6
ガイドコース②	・・・7
ガイドコース③	・・・8
発表会	・・・9
むこスタ番外編	
プログラムのその後	・・・10
次年度に向けて	
令和元年度の成果（着地点）	・・・11
令和2年度の取り組み（方針）	・・・12
令和2年度の取り組み（具体的な取り組み）	・・・12
むこスタの輪	・・・13

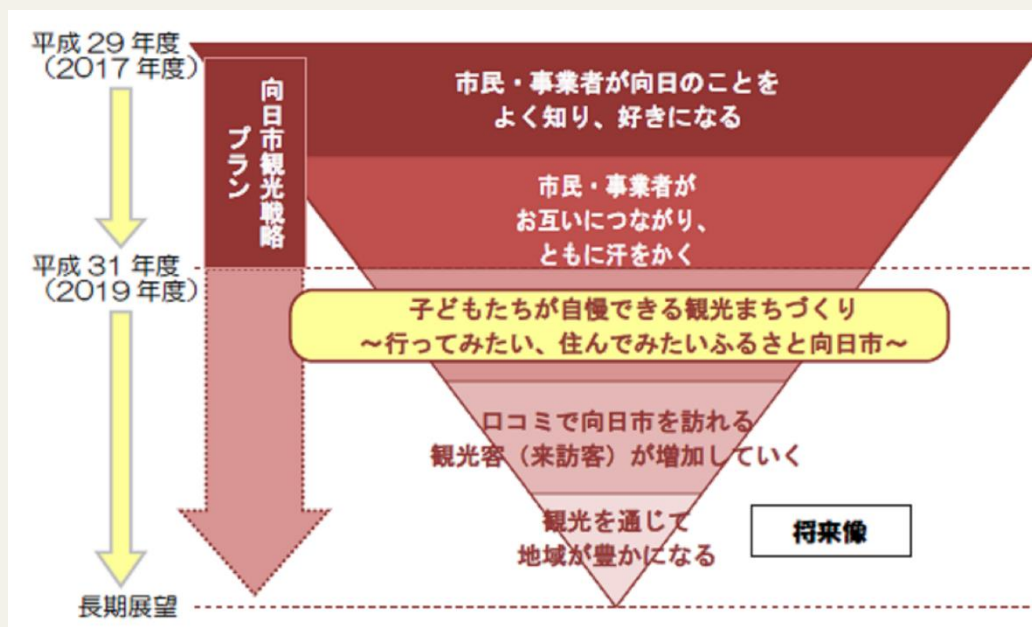
「観光人材」の必要性和市の取り組み

我が国では、来る超高齢化社会をにらんで消費を下支えするとともに、経済波及効果により地域を活性化し、雇用創出を図る方策として観光を位置づけ、地方においても同様の目的により観光に注力する自治体が増えています。

一概に観光といっても、見ごたえのある観光地や当地ならではの食べ物、体験など、目的となるモノは異なりますが、観光で成功している地域に共通していることは地域に熱意と意欲のある「プレーヤー」がいることです。

本市においても、この観光を重要な施策分野として位置づけ、「子どもたちが自慢できる観光まちづくり～行ってみたい、住んでみたいふるさと向日市～」を目標・将来像としてさまざまな取り組みを行っていますが、この目標を達成するためには、行政のみならず、市民や事業者、さまざまな団体等がその目標を共有し、連携してそれぞれが力を発揮する必要があります。

向日市では、これらさまざまな主体の方々とともに学び、観光を実践できるプレーヤーである地域観光人材の育成を通じて観光によるまちづくりを目指すため実施したのが、「むこう観光スタートアップ講座」、通称「むこスタ」です。



段階的に実現を目指す目標のイメージ（向日市観光戦略プランから）

むこスタのマインドセット(考え方)

「観光を通じてまちづくりを担う人材を育成する」ことをむこスタの事業目的とします。

令和元年度の取り組み

(仮称) 向日市観光交流センターの建設や国内外における観光ニーズ、また観光を通じたまちづくりを進めるため「**観光を仕事にする**」ことをテーマに、「観光での起業」を目指すマネジメントコースと「プロ」のガイドを養成するガイドコースを設け、講座を開催しました。

むこスタ、令和元年度のプログラム（振り返り）

ガイダンス（2019.7.27 @向日市商工観光振興センター）

○向日市の観光事業の取り組みについて

→ 向日市ふるさと創生推進部企画広報課 担当課長 谷口大樹

○観光における「図と地」論と観光まちづくりについて

○ワークショップ「向日市宝物語」

→ 京都外国語大学 国際貢献学部 グローバル観光学科 特任教授 吉兼秀夫 さん



有名で吸引力（人気）がある観光資源を「図」、その背景にある景観や景色、当地の生活習慣などを「地（ち）」にとらえ、双方を磨いていくことで、迎える側・迎えられる側である、観光客と住民がともに幸せになろうという「図と地」論の考え方を学びました。また、それぞれが思う「向日市の宝」について、意見交換を行いました。

マネジメントコース①（2019.8.25 @向日市商工観光振興センター）

○他地域で実践している事例から観光で地域を盛り上げるプロセスを学ぶ

→ 株式会社船井アソシエイツ 代表取締役 船井美紀 さん

観光地化をたどった次の5つの地域の事例を学び、今後「観光を仕事にする」ために必要なことを考えました。

①佐久島（愛知県西尾市）

アート作品を島中に配置するといった取り組みを
継続的に開催

②近江八幡市（滋賀県）

八幡堀をきれいにするための市民の運動がきっかけで観光地化

③岐阜市（岐阜県）

長良川流域をキーにイベントやアクティビティを多数集めた「長良川温泉博覧会」を開催

④里山十帖（新潟県越後湯沢）

メディア戦略により人気となった宿泊施設

⑤蟹江町（愛知県）

SNSでの拡散により全国から集客



佐久島「おひるねハウス」



近江八幡市の水郷



蟹江町観光交流センターの
集客イベント

むこスタ、令和元年度の プログラム（振り返り）



マネジメントコース②（2019.9.14 @大阪府富田林市）

○観光交流施設「きらめきファクトリー」見学

→ 株式会社船井アソシエイツ 代表取締役 船井美紀 さん

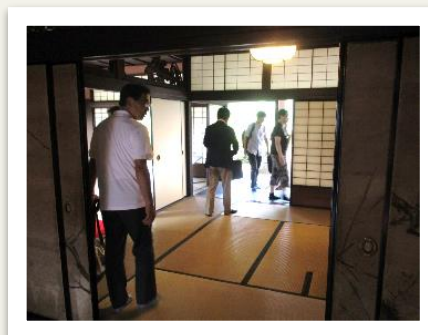
近鉄長野線富田林駅前にある観光交流施設「きらめきファクトリー」を視察しました。

2階建ての建物には観光案内スペースや特産品販売スペース、多目的スペースなどがコンパクトにまとまっており、参加者は（仮称）向日市観光交流センターをイメージしながら見学しました。



○富田林寺内町を見学

江戸時代から明治時代にかけての町家が多く残っており、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているまちなみを散策し、当地の観光資源を体感しました。



マネジメントコース③（2019.10.26 @向日市商工観光振興センター）

○ラウンドテーブルディスカッション「観光を仕事に」

→ 株式会社船井アソシエーツ 代表取締役 船井美紀 さん

「観光を仕事にする」ことに自分はどう関わっていけるか。
参加者ひとりひとりが考え意見を出し合いました。

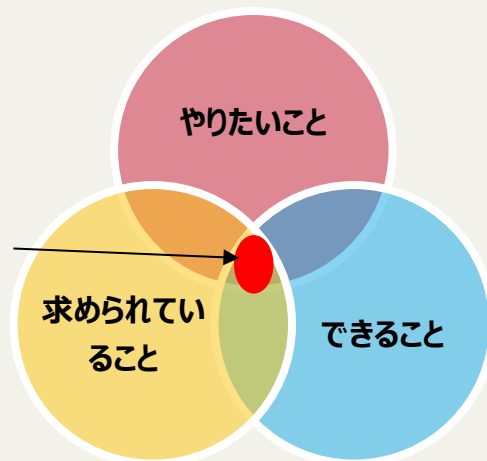
やりたいこと + できること = 趣味

やりたいこと + 求められていること = 夢

求められていること + できること = 仕事

やりたいこと + 求められていること + できること

= 今回目指すポイント



仕事とは？

社会に参加する 人と人をつなぐ

自己満足＝他者満足

対価をいただく

求められているもの

お金をもらう

見えないものを
形にする



観光を仕事にする

体験農場

マルシェ

イベント

音楽フェス

非日常感の演出

ワクワク体験

向日市以外でのPR
(アンテナショップ)

向日市観光交流センターの充実

自分なりにどう関わっていけるか

そこにしかないもの
(商品開発)

駅から始まる旅

ガイドツアー

名物ガイドの育成

旅行会社にPR

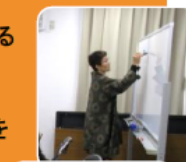
観光とは？

見物

外から来てお金を落としてもらう

まちの魅力を伝える

向日市に
愛着・親近感を
持ってもらう



「やりたいこと＝できること＝求められること」を目指そう！

ガイドコース①（2019.9.28 @向日市商工観光振興センター）

○観光ガイドとしての基礎知識・心構えとプランニングについて

→ 株式会社インプリージョンツーリズム事業部 プロデューサー 森なおみ さん

「まちの良さを発信する人こそが宝である」とお話がありました。そして、発信する内容より、発信する人の表情や服装、会話の速さやトーンなどが聞く人に影響を与えるというお話があり、参加者は自己紹介を題材にしたコミュニケーションレッスンを行いました。



ニックネームにエピソード
があるとウケるのか!



1分は意外と短いな・・・



ガイドコース②（2019.10.6 @向日市商工観光振興センター）

○向日市のPRポイントを共有しながらコースづくりに挑戦！

→ 株式会社インプリージョンツーリズム事業部 プロデューサー 森なおみ さん

ガイドコース第3回目に実施するトライアルコースを検討するため、参加者は3つのチームに分かれそれぞれの考えるPRポイントを共有しながら、実際向日市をガイドするコースづくりを行いました。

その後、「ガイド5つの心得」、「通常フィールドワークの準備」、「ガイドの7つ道具」など、事前準備に関するテーマについて、講師の森さんから話をいただき、次回のトライアルツアーに備えました。

ガイド5つの心得

- ① 予定時間を守る(歩行時間イメージ)
- ② 安全管理(歩道を歩く、交通量の多い道など)
- ③ 最後尾のサポート
- ④ 大きな声で案内する
- ⑤ わかりやすい言葉を使う



食べ歩きを取り入れたい！



30分で案内できるかな？



ガイドコース③（2019.11.9 @向日市内）

○実践！向日市トライアルツアー

→ 株式会社インブリージョンツーリズム事業部 プロデューサー 森なおみ さん

グループごとに 30 分の持ち時間でガイドを行い、テクニックや注意点を学びました。

Aグループ

文化資料館→向日神社→大極殿

講師コメント

- ・寺社仏閣は「参拝」「写真」「御朱印」ができる時間を取ると Good !
- ・想定よりも時間が延びることが多いので、85%程度でプランニングしておくとおちょうど良い



Bグループ

朝堂院→大極殿→説法石→向日神社

講師コメント

- ・参加者のコンディション・希望を事前リサーチしておくが良い
- ・自分なりのガイドができるとより Good !
- ・解説はコンパクトに



Cグループ

JR 向日町駅→深田橋公園→築桝講常夜燈→ライフシティ

講師コメント

- ・お店を回るときは一声かける＆購入できるフリータイムの時間を設けてガイドとお店が Win-Win の関係に
- ・自信がないときの魔法のフレーズ！「諸説ありますが～」



発表会（2019.12.21 @向日市商工観光振興センター）

○これまで学んだこと、感じたことを伝えよう！

- 京都外国語大学 国際貢献学部グローバル観光学科 特任教授 吉兼秀夫 さん
- 株式会社船井アソシエイツ 代表取締役 船井美紀 さん
- 株式会社インプリージョンツーリズム事業部 プロデューサー 森なおみ さん

マネジメントコースは1人ずつ、これまで考えてきた「観光を仕事にする」ことについて自分なりの考えを発表しました。

また、ガイドコースはガイドのコース作り、実践を通じて感じたことをグループごとに発表しました。



【マネジメントコース参加者 アイデア一覧】

- ・野菜収穫体験、実食
- ・人と人を結びつける場の提供
- ・浴衣などで変身して散策
- ・桜の径関係のグッズ販売
- ・向日市民と観光資源の発掘
- ・サイクルツアー
- ・まちバル
- ・情報発信（SNS）、音楽イベント
- ・おじさん観光スタンプラリー
- ・観光姉妹都市で他地域と連携
- ・特産品を使ったお弁当販売
- ・芸術高校、大学と連携したアートストリート
- ・竹の径、競輪場のライトアップイベント

【ガイドコース発表内容】

- A グループ** 机上と実践での時間配分に差があった。下見が必要だと感じた。コース作りに際してはトイレも重要。ガイドをする際に時間が足りずパニックになってしまった。
- B グループ** 準備をきちんと行うことで自信を持ってガイドできると感じた。調べたことを全て伝えようと思ったが焦ってしまった。もう一度来たいと思える余裕を持った案内が必要だと思った。
- C グループ** ポイントで資料や写真を見せた方がわかりやすいのではないと思った。お店を紹介する場合は入口で説明をして自由時間を確保するのが良いと思った。安全の確保が重要だと感じた。

プログラムのその後

今回の講座を通じて学んだことをさらに深めるため、発表会の終了後も活動が行われました。

ガイド班

令和2年春に実施する有料ガイドツアーを企画し、「JR ふれあいハイキング」冊子へのツアー掲載を行うとともに、ツアーを運営するためのチームビルディングやツアーシミュレーションを行うなど、会合と準備を重ねました。（注1）

令和2年度以降は、引き続きガイドスキルの向上を図るとともに、本格的なツアー実施を目指して活動を行うこととしています。

マネジメント班

向日市観光交流センターの建設もにらみ、発表会で出た様々なアイデアを実現するため、次年度も引き続き、課題の整理とアイデアのブラッシュアップ、試行（トライアル）を続けていくことを共通理解としました。

（注1）

ガイドツアーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

令和元年度の成果（着地点）

令和元年度の取り組みでは、講座での学びを通じて、次の成果がありました。

マネジメントコース

次年度以降、特に向日市観光交流センターを具体的なひとつのアイデア実現や活動の場ととらえ、アイデア出しとその整理を行うことができた。

ガイドコース

稼げるガイド養成を将来的な目標とし、ガイド技術とコースプランニングの基礎を学ぶとともにガイドコースを作成した。

共 通

参加者が他の参加者の考えやアイデアに触れるとともに、今後向日市で活動していく際の人のつながりをつくることができた。



令和2年度の取り組み（方針）

令和2年度の取り組みを行う前に、取り組みに関する考え方を整理します。

課題解決などでは、「ギャップ・アプローチ」と「ポジティブ・アプローチ」の大きめに2つの考え方があります。「ギャップ・アプローチ」は、あるべき姿（明確な目標）を掲げ、現状とのギャップ（差）を埋めるためにさまざまな取り組みを行うアプローチ法です。

一方、「ポジティブ・アプローチ」は、「いまあるもの」を肯定的にとらえ、何があるか、それをどう使うか、そして、それを伸ばすことで理想に近づけていこうというものです（理想≠目標）。

わたしたちむこスタでは、明確な目標というよりは、「こうできたらいいな」「こうしたいな」を大切に、自由に楽しく取り組むことを目指して、「ポジティブ・アプローチ」により事業を進めていきます。

令和2年度の取り組み（具体的な取り組み）

令和元年度に学んだことや人的つながりをベースに、実際の事業においてトライアルに取り組むこととします。

マネジメントコース

- さまざまなアイデアを試行に移し、市や向日市観光協会が実施する事業や向日市観光交流センターにおける指定管理者等が行う自主事業とも連携、連動し、集客イベントや商品開発等を行う。

ガイドコース

- JRふれあいハイキング等を活用し、ガイドツアーを造成、実施する。

むこスタの輪

むこスタで学んだ参加者には、さまざまなアイデアや思いなどがあると思います。

その思いを実現し、アイデアを形にするためには、たくさんのモノが必要です。それは、お金であったり、経験であったり、知識であったり。しかし、自分ひとりではできないこと、足りないモノがある場合も、いろいろな人が集まり、それぞれの得意分野で力を発揮することで解決することが多いのも事実です。

むこスタでは、参加者が自主的に、楽しく活動することが大切であると考えており、その活動に賛同していただける、同じ思いを持つ仲間も求めています。

むこスタの「輪」が大きくなればなるほど、きっと実現できることが増えていきます。

取り組みについてもっと知りたい、自分も参加したいなど、気になる方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

向日市ふるさと創生推進部企画広報課

TEL 075-931-1111（代表）

E-mail kikakukoho@city.muko.lg.jp

- むこう観光スタートアップ講座の取り組みはコチラ

むこう観光スタートアップ講座

検索





む こ う し
向日市

古都のむこう 魅力のふるさと

Printed in Japan@2020 向日市 All right reserved

本書の一部あるいは全部について、向日市から許諾を得ずに、いかなる方法においても、無断で複写、複製することは禁じられています。